

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第 31 号

(平成26年 10 月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会
連絡先：(事務局)UR都市機構東日本都市再生本部
三鷹駅南口再開発事務所
TEL 0422-70-0556



トピックス

- ・協議会第 56 回勉強会の報告
- ・協議会第 57 回勉強会
〔賑わいあるまちづくりについて講演会〕の報告
- ・協議会第 18 回商業部会の報告
- ・UR 都市機構からの報告～事務所移転について～



協議会第 56 回勉強会 (H26.6.13) の報告

第 56 回勉強会では、以下の事例をもとに意見交換を行いました。

事例① コレド COREDO 室町、COREDO 室町 2、COREDO 室町 3、YUITO (東京・日本橋)

三鷹駅南口中央通り東地区においては、複数棟のビルを地下で接続することにより、駐車場出入口の集約化を検討しているところです。

今年 3 月に開業した COREDO 室町 2・3 を含む上記 4 棟のビルは、地下 2 階で接続しており、駐車場を一体的に利用できるとともに、出入口を 2 か所に集約しています。

事例② ワテラス (東京・神田淡路町)

事例③ 深川ギャザリア (東京・深川)

事例④ 総曲輪グランドプラザ (富山・富山市)

三鷹駅南口中央通り東地区では、地区の西側中央部に広場空間を設ける計画を検討中であるため、広場に面して商業施設を配置している事例を 3 箇所取り上げました。



〈総曲輪グランドプラザ〉

協議会第 57 回勉強会〔賑わいあるまちづくりについて講演会〕(H26.8.1)の報告

第 57 回勉強会は、講師に山下裕子氏（富山市総曲輪グランドプラザ元担当）をお招きし、講演会を開催しました。「まちなか広場」の活性化の秘訣を語っていただくとともに、賑わいあるまちづくりについて参加者と意見交換を行いました。

【講演会の要旨】

総曲輪グランドプラザは、ソフトとハードの両面で、「誰もが使いやすい広場を」という構想のもと計画され、常に人が集まる、稼働率の高い公共空間として全国の自治体や商業者等から注目されています。公共空間において、持続性のある真の「にぎわい」とは何か、関係者が協力し合い、地道に、積極的に行動することの重要性について、お話しいただきました。

【グランドプラザの特徴】

- ・ 中心市街地の中でも一番の中心地に広場を整備
- ・ 広場のサイズ（幅 21m×奥行 65m=1,365 m²）
- ・ グランドプラザ活用委員会（整備前から関係者を集め、本音の議論を重ねた組織）
- ・ 使用料金の徴収（休日全面終日使用 20 万円）
- ・ 人が集まる仕掛けの数々（椅子・テーブル、収納式ステージ、貸出用備品等）
- ・ イベントの予約のない日は、自主企画として子供の遊び場を提供し、にぎわいを維持

講師からのコメント

先日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。何度も訪れている三鷹のまちの商店街を初めて歩く機会ともなりました。UR 都市機構の職員の方が、通りを歩きながらとびきり美味しいお店や、店主のお人柄を笑顔で語ってくださったのが印象的で、通りを歩いているだけで、人の顔が、人柄が感じられるまちは、未来が明るいまちだと感じています。人と人とが寄り添い暮らしている都市において、そこに住んでいる人、訪れた人同士が横につながる時間をつくれる空間でもある「まちなか広場」。今度、三鷹を訪ねる日を今から楽しみにしています！

全国まちなか広場研究会 山下裕子

協議会第 18 回商業部会(H26.7.18)の報告

これまでの商業部会での検討内容を振り返りました。

【主な意見】

- ・ 権利床の配置計画のイメージは定まっているのか。
⇒現在検討中の施設計画について、権利者の皆様から概ねの合意を頂いた段階で権利者ヒアリングを実施し、ご意向を伺っていく。ただ、皆様の希望にすべて沿える訳ではないので、一定のルールを決める必要がある。

UR 都市機構からの報告～事務所移転について～

UR 都市機構三鷹駅南口再開発事務所は、平成 26 年 10 月 6 日付けで三鷹中央ビル（三鷹駅前第 3 市街地住宅）2 階に移転しました。

事業に関するご質問、ご相談等がございましたら、お気軽にお越しください。